

第2回 株式会社エフエム真岡 放送番組審議会議事録

- 1 開催日時：令和3年1月12日(火) 午後1時30分~午後2時30分
- 2 開催場所：真岡市役所3階 301会議室
- 3 委員出席：審議委員総数5名
出席委員数5名

■出席委員(敬称略)

増山 明 (真岡商工会議所 専務理事)
小池知恵子 (真岡市総務部情報政策課 情報管理係長)
篠崎 勝美 (株式会社シノザキ楽器 代表取締役)
宇賀神久子 (株式会社アキヤマ観光 チーフカスタマーサービス)
上澤 宏行 (真岡青年会議所 前理事長)

■放送事業者側出席者

加藤 靖 (株式会社エフエム真岡 代表取締役)
高橋 尉浩 (株式会社エフエム真岡 取締役)
加門 宏文 (株式会社エフエム真岡 取締役)

4 議題

放送番組の審議

初めに、事務局からの報告として、開局後、約2か月間の運用が概ね順調であったこと、防災ラジオの販売とスマートフォンアプリのダウンロード数の実績が堅調なこと、イベント会場からの生中継や市議会生中継も実施したこと、AIアナウンサーを活用し、4か国語で「真岡市からのお知らせ(コロナ関連)」を緊急放送したこと、最後に、今後の運営に関する展望を報告。

5 審議内容

- ① 審議番組「いつでも どこでも もおかの874(ハナシ)」令和2年12月12日放送
*事前に審議対象番組を収録したCDを配布しており、各委員より感想・意見・改善・疑問点等を上げていただき、他の委員との意見交換ののち、放送事業者側より適宜、説明・回答した。

(委員) 全体的には良かったと思います。個人的には防災の部分をもう少し話してもらった方がいいのかなと感じました。と言うのも私の家の前に防災無線があるのですが定期的に放送が流れます。そういう感じで現在のコロナに関する情報ですとか、対応の方法を声で届けていただければと思います。

(委員) この番組のパーソナリティの松下さんと出演した市の担当者の方が大変声がチャーミングで聴きやすく、内容的にもとても良かったと思います。本当のパーソナリティに育っていると感じました。気になったのが、曲の紹介の時にアーティストの名前を呼び捨てにするのは、一般的なのでしょうけど、女性が話す

ときには「さん」づけの方が聞きやすいのかなと思うところもありました。まあ、個人的な印象でもあると思うのですが。内容的には「オンラインいちご狩り」というテーマで難しかったと思うのですが、何とかわかりやすく伝えようということが伝わってきて良かったと思います。

(委員) 私もFMもおかの番組にも出演させていただいているのですが、初めはパーソナリティの方、大丈夫かなとドキドキしながら話していましたが、段々おしゃべりが上手になってきたのが分かって成長していると感じました。そこでやはり地域のコミュニティFMですから、地域の話に特化していると思うので、地域の特産品や欲しい情報、ここにこういうものがあるよとか地元の人が必要な情報を伝えてあげるコーナーとかあれば、リスナーが喜ぶと思います。あと、地域の情報として、例えば道路拡張している408号線が3月に暫定開通するとか、この道はこの道に繋がりますよとか、開通式を生中継するとか、そういう地域の出来事を伝えていけばいいんじゃないかと。また、「FMもおか」は市役所の中にあり、市役所には情報が一番入りますから、そういう情報を発信していけばと感じました。あと、人気のラジオ番組は、テーマを決めてリスナーさんに意見を出していただき、やりとりすることで番組を進行している、そんなことができれば、聞いていて楽しい番組になるんじゃないかと思います。それと、防災ラジオの音がすごく聞きやすいです。いままでの防災無線に比べていいです。ただ、送信所から距離が離れたり、北関東道路のような大きな構造物があると場所によっては遮蔽されて聞きにくいと思うので、そういう時はアプリで聴いてもらえるようPRしていけばいいのかなと思います。

(委員) 今回の審議番組だけでなく、その他の番組でも、個人的な感じ方かもしれませんが、番組の始めにパーソナリティの〇〇です、ゲストの〇〇ですと入り、トークが入って、10分程度で1曲目の音楽が入り、曲明けに、また、本日のパーソナリティ〇〇です、ゲストの〇〇ですと紹介がある、さらに2曲目の曲明けにもあり、最後にもまた同じことを繰り返している。そうすると40分の間で4回になるので、聴いてる側としては多いんじゃないかと感じました。おそらく途中から聞いた人のためにお話していると思うのですが、間に一回でいいのかなと。そこで時間を使ってしまうのはもったいない、他の情報を伝えられるのではないかと思います。

(委員) 審議番組は、ひととおり聞きました。なかなか仕事をしていると平日は聞けないのですが、通勤の時とか、仕事で移動中とかに聞いています。自分の車にもチューニングを設定してありますし、職場の車にも設定しておきました。まあ、約2ヶ月経過しましたが、こんなにパーソナリティが上手なんだというのが第一印象です。パーソナリティを全員きちんと聞いているわけではないのですが、段々良くなってきている。ただ反面、もっと個性があってもいいのかなというところもあります。今回の審議番組のように地域話題がたくさん市民に発信されればいいのかなと思ったところです。

(事務局) 各委員より出されましたご意見・ご指摘の中で、まず防災関係ですと市の防災

無線との連携は県内初ですが、防災ラジオとの親和性が高いので上手に利活用されていると思います。アーティストの呼び方につきましても、一般的な放送では呼び捨てが多いような感じになりますが、もしリスナーの方でちょっと違和感があるのなら、個々の番組の中で対応することもできますので、全体の中で調整させていただきたいと思います。地域情報の収集やゲストのセッティングなどは、まさしくパーソナリティの姿勢や能力になってきますので、局としても上手に指導し成長できるよう教育していきたいと思います。また、番組の中で自己紹介等が多いとのご指摘を受けましたので、すぐに改善できますので対応させていただきます。

(委 員) パーソナリティの情報収集ですが、市役所に拠点があるからこそ情報が取れる気がするんですね。各課から掲示された情報があるのならパーソナリティがそれを吸い取って流していけば、拾いやすく簡便に情報をとれるのかなと。今は自分で一生懸命調べてきた情報を話している感があるんですが、市役所に密着したところから吸い出せるようになると、いいのかなと思います。

(事務局) ご指摘のとおり、そのところがスムーズにできるパーソナリティとなかなか情報収集が上手いかないパーソナリティとの違いがあるかもしれません。

(委 員) パーソナリティの中には自分でお店に行って、商品を買って、それをネタに話している方がいる。そういう方の話を聞いていると「良くやってるな」と感じますね。また、お得な地域クーポンなど、もっともっと情報として発信してもいいのかなとも思います。

(委 員) 飲食店を絡めて「テイクアウト」の情報なんかを流してやると、お店の中で番組を流してくれると思います。そうすると「FM もおか」を聞ける場所がもっと増えると思います。

(事務局) 飲食店とコミュニティFMは親和性が高いと考えていますので、なかなかコロナの状況もありますが、地域経済が循環するような番組をつくっていきたいと思います。

(委 員) あと、他の委員さんからも出ましたがリスナーの応援メッセージがあると思いますが、この曜日のこの時間は「このテーマについて募集します」のような、リスナーとのやり取りができるような番組ができると、地域の人も参加しているということで、うれしいと感じられるようになると思います。

(事務局) ご指摘のとおり、リスナー参加型の番組をどうつくり込んでいくか、模索しているところですので、番組編成を含めて検討させていただきます。

(委 員) それと、アプリで「FMもおか」を聴いてますと、他のコミュニティFMの方が音がいいのかなと覚えることがあるのですが。

(事務局) 音に関しましては、調整することが可能ですので、我々も現在、調整しているところです。そのご意見に関しましても、すぐ対応させていただきます。

(委 員) それとコロナの状況があるので飲食業やサービス業は、なかなか厳しい現状にあるわけですね。「FMもおか」がそういう業界を応援していただけるとありがたいと思います。

(事務局) 可能な限り応援していきたいと思います。

(委 員) ひとつ確認ですが、アプリでパーソナリティさんの名前は番組表に入れることはできるんでしょうか？

(事務局) 可能です。すぐ対応します。

(委 員) 土日は自主放送番組が少ないと思いますが、意図的にそうしているのですか？

(事務局) そうです。本来はイベントなどの生中継を入れていきたいと考えて土日は意識的にフリーにしてあります。また、同時に地域のボランティア団体や教育機関等の番組で固めることで、平日とは色味を変えて、真岡市らしい編成をしています。

② 放送番組審議会の次回開催について

(事務局) 次回の審議会は、4月13日(火)、午後1時30分から、場所はエフエム真岡会議室か今回のように市役所の会議室をお借りして開催したい旨を提示。

(委 員) 審議委員全員一致で承認可決。

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

① 自社ホームページに掲載 (<https://www.fm-moka874.co.jp/>)